

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
パン粉粘土	小	グループ学習 高学年ペンギン （図画工作）	矢田綾

<ねらい>

- ・教師や友達と一緒に活動する中で、してみたいという気持ちを膨らませながら楽しく取り組めるようになる。
- ・見通しを持って取り組み、満足感を感じられるようになる。
- ・パン粉粘土遊びを楽しむことができる。
- ・色の変化、感触の変化を楽しむ。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ①パン粉のにおいをかいだりさわったり、スコップやプリンなどの容器などを使ってパン粉で遊ぶ。
- ②色水の入った霧吹きを使ってパン粉に色づけし、パン粉粘土を作る。
- ② 型抜きやスコップなどでパン粉粘土遊びをする。
- ④パン粉粘土の柔らかさに慣れたらさらに霧吹きをして感触を変化させ、パン粉粘土遊びに取り組む。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・パン粉に興味を示していた。
- ・生徒の実態に応じて水分量を調整し、パン粉に近い状態のパン粉粘土を作ることができるので粘土が苦手な生徒も取り組みやすい。
- ・パン粉が水分を含むとパンの匂いが強くなるため、食べないように注意が必要。
- ・食物なので作品として形に残すことができない。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・パン粉（業務用スーパー）
- ・食紅
- ・霧吹き
- ・パン粉を入れるためのバット

